

ゆたか倶楽部 よもやま話

vol. 25

先々月号はにっぽん丸、先月号は飛鳥IIと、2回に渡り、日本船の近況についてご紹介しました。今回はフレンドシップの愛称で親しまれる日本クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」を運航する日本クルーズ客船株式会社についてお話しします。

同社との付き合いは古く、私が札幌の旅行会社の支店長を務めていた昭和52年まで遡ります。親会社である新日本海フェリーを利用した、佐渡島4泊5日間の船旅を企画しました。小樽港から新潟港に出て、さらに佐渡島の両津港へ渡り、現地ホテルで2泊し、帰日も新日本海フェリーに乗って、来た道に戻るコースなのですが、値段が安かったこともあり、4年間で5000人のお客様が参加してください、当時の大ヒット商品となりました。その時、新日本海フェリーを担当していたのが、入社してまだ数年の佐々木正美氏です。再びお会いしたのは40年後になりますが、現在は、常務取締役を務めていらっしやいます。

同じグループ会社の西日本汽船とは、

初期の頃に「ゆうとびあ」や「ニューゆうとびあ」をチャーターし、中国や小笠原クルーズを実施したことからお付き合いが始まりました。日本クルーズ客船になって、「おりえんと びいなす」や「ばしふいっく びいなす」をチャーターして日本一周クルーズを実施したり、世界一周クルーズにゆたか倶楽部のお客様が大量ご参加くださったりと現在も大変お世話になっております。当時の担当である東山満氏は、現在は営業部長として務められています。



ばしふいっく びいなす

日本最大のフェリー会社である新日本海フェリーの傘下には多くのフェリー会社があります。

新日本海フェリーは、小樽・苫小牧・秋田・新潟・舞鶴・敦賀といった日本海側の港を、日本最初のフェリー会社である阪九フェリーは泉大津・神戸と北九州、

関釜フェリーは下関と釜山を結びます。東京から四国・九州を結ぶ、オーシャン東九フェリーも新日本海フェリーの資本が入っています。

同グループは船だけでなく、ホテル経営もしております。関門海峡を目前に臨む「下関グランドホテル」、昔懐かしい港町の風情を生かした「オーセントホテル小樽」などがありますが、新しいホテルが2020年12月1日、北海道にオープンしました。「ニセコ樺山の里 楽水山（らくすいさん）」は18室すべてが離れ客室の高級宿で、それぞれの客室から望む壮麗な羊蹄山の雄姿はさぞかし圧巻でしょう。全室「樺山温泉 アンスプリの湯」を源泉とした、源泉かけ流しの露天風呂が備わっており、1泊20万円ぐらいするそうです。

新しいニュースは2021年も続きます。7月に就航が予定されている「東京九州フェリー」は、横須賀・北九州を結ぶ航路です。横須賀側のターミナル「横須賀新港ふ頭」は、市街地に近い「記念館三笠」からすぐ近くの海に突き出た埠頭で、京急の横須賀中央駅からも歩ける距離なのも手軽だと思えます。九州側は、グループ会社の阪九フェリーと同じく新門司地区を予定されているそうです。

船は三菱重工業長崎造船所の本工場で新しく建造される「はまゆう」で

す。約1万5400トン、12メートルトラック約154台と乗用車約30台を積載でき、旅客定員は268人と伺っております。船内はエントランスが3層吹き抜けとなり、シースルーエレベーターが装備されるほか、露天風呂や展望浴場、レストランやバーベキューコーナーが設けられ、海を眺めながらの入浴や食事を楽しむことができるそうです。また、環境面では、在来船と比べて約6%の省エネを実現するほか、主機関および発電機関に排ガス浄化装置が搭載されています。横須賀・北九州を運航する前に、グループ会社である新日本海フェリーの関西・北海道航路で、既存船のドック入りに伴う代替として3月から運用されると伺っています。いち早く新造船を体験されたい方は、関西・北海道航路の旅を計画されると良いのではないのでしょうか。

客船、フェリー、ホテルと多くのグループ会社を持つ、新日本海フェリーの社長は、入谷泰生氏です。クルーズ事業に携わって40年、私の2歳下になります。同じクルーズの世界でオーナー業を務める者として大変尊敬しております。

新型コロナウイルス禍の中で、クルーズ業界が苦難に直面しておりますが、お互いになんとか踏ん張り、続けていき、数年後には新造客船がデビューして欲しいと願っております。